



今富っ子

小浜市立今富小学校
平成29年10月6日
=10月号=

校長の 独りの言



小浜市小学校陸上記録会がありました。参加した子ども達は、競技や応援に頑張り、素晴らしい成績を収めてくれました。とても嬉しかったです。

一方で、毎日、放課後練習に参加し、一生懸命練習していたけれど、選手として出場できなかった子どももいます。

私は長い間、中学校で部活動の顧問をしていました。みんな一生懸命練習しているので、試合に出してあげたいとは思っている。「チームの目標」を達成するためには、試合に出られない子がいるのは仕方ないとの思いを持っていました。ある年、我が子が入部してきました。他の子同様に一生懸命練習をしていました。大会が近づき、試合に出る選手を決める時期が来ました。試合に出るのは五人。四人まではすでに決まったのですが、あと一人を誰にするか。練習や練習試合の様子から、二人のうちのどちらかです。我が子にするかもう一人の子にするか。顧問としての私は、「チーム事情」から体格の良いもう一人の子を試合に出す、と思うのですが、親としての私は、体格に劣る我が子が同じような結果を残しているのだから、試合に出してやりたい、と思うのです。顧問ですから、最終的にはもう一人の子を試合に出しました。他の子も頑張っていますし、我が子も頑張っている。親の私は情けないもので、同じように頑張っているのにと、不憫な気持ちになってしまいました。

陸上記録会だけでなく、器械運動発表会の時も、一生懸命に練習していた子がたくさんいました。参加人数に制限がある中、当日、出場できなかった子ども達もいます。出場できなかった子ども達はもちろん、親御さんにも悲しい気持ちにさせているなあと思います。

そんな子どもや親の気持ちに思いを巡らせつつ、『チームいまとみ』として、選手選考をしていける教職員、学校でありたいなあと思います。

家庭学習の手引き 改訂版を配付!

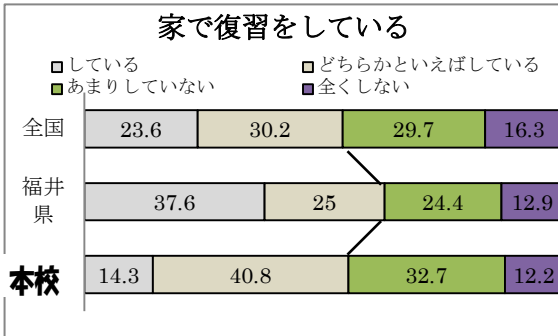
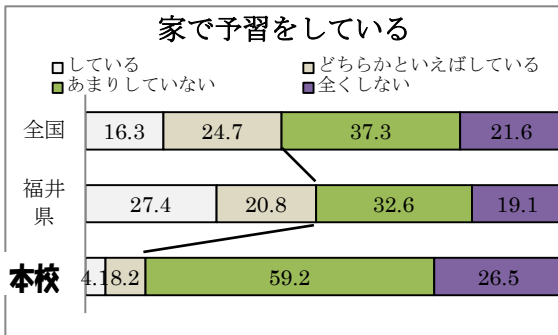
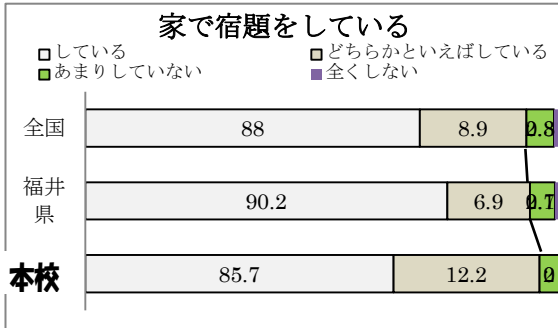
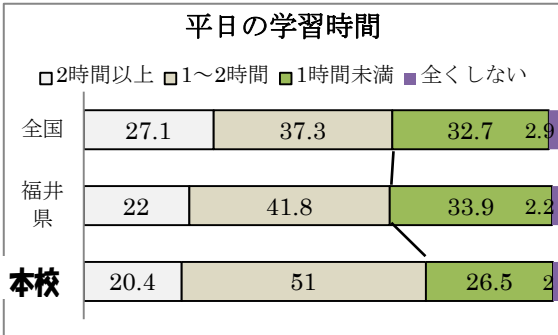
先週、今富小学校『家庭学習の手引き』の改訂版を配付しました。良い学習習慣を身につけた子どもに期待したい、主体的に学習に取り組める(どんな学習に、どのように取り組むか、自分で考え判断し行動できる)子どもに育てたいとの考えから、作成したものです。

左グラフ(H29全国学力・学習状況調査より)を見てください。本校の児童は、平日の学習時間が1時間以上の児童の割合は、全国や福井県と比べて高いです。宿題をしている割合も高いです。しかし、予習や復習(自主的な学習)になると低くなっています。本校の子ども達は、学校教育目標にある「すすんで」「与えられたこと」は取り組んでいます。が、「生きる生き」(自分で考えて)取り組むことに課題があります。子ども達が生きるこれからの社会は、環境問題や食糧問題、安全保障など、様々な要因が絡

み合い、簡単に解決策が見つからない、難しい課題がたくさん待っています。

世の中の動きや状況を見極め、自分らしくも人として正しい判断をし、仲間と協力しながら行動できる資質・能力が必要となります。そんな資質・能力の基礎として、授業で学ぶ新しいことや興味を持ったこと、分からないことに対して、調べてみよう、取り組んでみようという気持ちを持ち、行動に移す良い学習習慣を、小学生の頃から育てておくことが大切です。

今富小学校『家庭学習の手引き』を見ていただきながら、決まった時刻に学習に向かうことや自主的な学習に取り組むことの大切さについて、お子さんと話し合ってみてください。そして、家庭学習に取り組むお子さんの様子を見守ってあげてください。よろしくお願ひします。



ご意見・ご感想をお聞かせください。

お名前 () <キリトリセン>

Blank lines for writing comments and names.



『ヒガンバナ(彼岸花)』です。秋の彼岸の頃に咲くことからこのような名がつけられました。『マンジュシャゲ(曼珠沙華)』という別名に加え、異名がとても多く、方言も含めると千以上もあるそうです。「赤い花」、「天上の花」としてめでたい兆しとされることもあります。

花言葉は「独立」です。束縛や支配を受けなくて、自分の意志で行動すると言う意味があります。自分らしくも人として正しい判断をし、仲間と協力しながら行動していける大人でいられるとステキだなあとと思います。



クラブの時間、壬生狂言保存会にお世話になり、練習しています。地域に伝わる大切な伝統を学んでいます。

文責：山名 聡